

第42回 鹿児島県砕石業安全衛生大会に参加 ガイアテックから2名が表彰!!



砕石連合会の中馬会長より表彰を受ける井手口次長



表彰された井手口次長と東さん(左から)

1月11日(金)の午後より鹿児島市のホテル ウェルビューにて、第42回 鹿児島県砕石業安全衛生大会が行われました。ガイアテックからは、橋口会長・東別府社長をはじめ本社及び各砕石工場からも多数参加されました。

本大会において、ガイアテックからは高城工場の井手口 徹 工場次長が【平成30年度 安全管理優良従業者】で、同じく高城工場の東 大輔さんが【平成30年度 安全衛生標語入選者】で表彰されました。また本大会では、鹿児島県内の砕石業における労働災害の事例の報告があり、昨年県内の砕石業界では4件の労働災害が発生しましたが、すべてが転倒・転落事故だったそうです。また直近の10年間で一番多い年となってしまったそうです。

【受賞作】

『慣れた作業、そんな時こそ再確認 基本守って 安全作業』

【東 大輔】

安全祈願を行った照國神社にて
記念撮影

【安全帯の呼称が変わります。】

2018年6月19日に労働安全衛生規則が改正され、【安全帯】から【墜落制止用器具】と呼び名が改められました。

何故、法改正がなされたのか簡単に説明しますと、国際規格に移行しただけです。

この法改正に伴い【墜落制止用器具】に関する色々な事が変わりましたので説明します。

まず、高さ2m以上の場所で作業床の設置困難な箇所で作業するには、原則フルハーネス型墜落制止用器具の使用が義務づけられました。特に高さ6.75mを超える箇所(建設業においては、高さ5mを超える箇所)では、必ずフルハーネス型墜落制止用器具を使用しなければなりません。

ただし、猶予期間として2022年1月1日までは現在使用しているものを着用しても構いません。これ以降は現在皆さんが着用しているのは使用できなくなります。

次に大きく変わったのが特別教育を受講しなければならなくなったということです。

フルハーネス型墜落制止用器具を用いて作業する労働者に6時間の特別教育を実施することとなりガイアテックでは、各工場から1名ずつ受講してもらいその後各工場が必要に応じて特別教育を随時行っていく予定です。現在、法改正に伴いこの特別教育が実施されていますが、建設業を中心に受講希望者が多くなかなか席を確保できない状況です。出来るだけ早く受講出来るようにします。

【どんな作業でフルハーネス型を使うのか。】

それでは、社内のどんな作業の時にフルハーネス型を使用をしなければいけないのか？

どの工場にも該当するのは、ベルトコンベアのローラー取替作業です。他にも工場毎や作業に応じて必要になることも有るかと思います。法改正がなされたばかりで安全室も十分に理解できていない部分もありますので勉強して理解を深め、皆さんから問いに答えられるよう努力します。

環境安全室 係長 星 和彦

ご安全に・・・



フルハーネス型
墜落制止用器具

免許・資格取得者紹介

車輛系建設機械(整地)：海老原 広大（川内）・上園 剛（高城）

車輛系建設機械(整地・解体)：志戸岡 良己（岩元）

各部署・各工場の紹介

～阿久根工場～

ガイアテックには、関連工場を含め17の工場と幾つかの部署があります。
第7回目は、ガイアテック最北の工場である【阿久根工場】について紹介します。

阿久根工場は、阿久根市北部の出水市との市境近くに位置する生コン及びアスファルト工場でガイアテックの工場では最も北にある工場です。また、広大な工場敷地のすぐ裏側を南九州西回り自動車道が通っており、工場のすぐ近くには阿久根北ICもあります。

おかげさまで一昨年前、古びていた事務所・車輛係の休憩所・トイレをリニューアルして頂き、工場がキレイになったことで職場環境が良くなり快適に日々の業務に取り組んでいます。

現在の阿久根工場の従業員は、私を含め11名（検査係：2名、業務係：1名、製造・出荷係：2名、車輛係：5名）と少数精鋭の中、年齢層も20歳代から60歳代までと幅広く多様な価値観を持った个性的なメンバーが揃っています。

阿久根工場としては原電プラントへの車輛及び人員の積極的な協力を行い、今後も発注されていくと思われる南九州西回り自動車道関連の工事や国道504号線関連の工事などの公共工事等を見据え又地区協組のLLP事業など適切に対応出来るよう日々の業務の一つずつを大事に取り組んでいきます。

今後も、お客様に対し感謝の気持ちを持ち信頼される工場を目指し、全員一致団結協力して業務に励んで参る所存です。

最後に、阿久根工場の近くにいらっしゃる際は、（あくね）（うまいね）（自然だね）の美味しいお茶を提供いたしますので是非お立ち寄り下さい。

【阿久根工場 工場次長：栗野 昌浩】



ユーモアたっぷりの
阿久根工場の皆さん



協力業者の紹介 ～ 株式会社 JRC ～



第6回目は、各工場でベルトコンベヤ部品の設計・販売でお世話になっている【株式会社 JRC】さんを紹介します。

私たち株式会社JRCは、1961年（昭和36年）の創業以来一貫してコンベヤ部品の設計・製造・販売を事業とするメーカーです。おかげさまで、ローラ・スタンド・プーリといった弊社製品は、ガイアテック様をはじめとする砕石・生コン・アスファルト関連のお客様はもちろん、全国の火力発電所・製鉄所・リサイクル施設・下水処理場さらには、トンネル工事・ダム工事等重要な社会インフラを担うお客様にも多くご採用いただきその発展に貢献するとともに、高い信頼を頂いてまいりました。

近年は、メーカーとしての事業領域のみにとらわれず、長年培った知識・経験を活かして、お客様の現場の課題を解決し、利益向上に貢献する「ソリューションプロバイダー」として、さらなる成長を目指しております。



株式会社 JRC

代表取締役 浜口 佳宏 会長

■ 事業所

工場：本社工場（淡路島）・北海道工場（旭川市）・北関東工場（埼玉県）・南九州工場（鹿児島県）

営業所：札幌・仙台・北関東・横浜・東海・大阪・広島・北九州・南九州

グループ会社：商栄機材 株式会社・株式会社 大成・瀋陽皆愛喜輸送設備有限責任公司（中国遼寧省）

株式会社 ガイアテック様との繋がり

ガイアテック様には、グループ会社の西日本興産様、南日キョーワ様とともに、毎年弊社の本社工場見学にお越しいただいております。また弊社の高機能製品を多数導入いただき、現場の環境改善・安全対策にお役立ていただいております。事例として、高城工場においては各種ベルトクリーナの整備強化と「落荷防止リターンローラ」の導入により、搬送物の付着や落鉱のトラブルにかかる清掃作業の削減に繋がりました。また川辺工場においては、現場の安全対策として巻き込まれ事故の原因となる「付着除去作業」を根本的になくすため、ベルトクリーナの整備強化のほか、搬送物が固着しづらい「スマートゴムライニングプーリ」の導入、危険箇所への「安全柵」の新設を行い、いずれもその改善効果に高い評価をいただいております。弊社としましては、より安全に、高効率にすべてのコンベヤ設備をお使いいただけるよう、さらなる改善提案と、製品・サービスの拡充に努めてまいります。



最後に・・・

弊社では、製品のご提供のみならず、ベルトコンベヤをご使用の現場における各種トラブルやお客様のお困りごとに対し、その症状の改善と問題の解決、またその波及効果によるコストメリット創出に向けた一連の「ソリューション」をご提案します。ガイアテック様とはこれからも協同体制で「現場起点」の継続的改善を行い、設備全体の安全性・生産性の向上に貢献してまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。